

新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジなし・年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第14期 (決算日 2023年11月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジなし・年2回決算型)」は、2023年11月20日に第14期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2017年2月3日から2032年5月20日までです。	
運用方針	主として、「ハイクムBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジなし・年2回決算型)	「ハイクムBDCマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ハイクムBDCマザーファンド	BDC (ビジネス・ディベロップメント・カンパニー) を主要投資対象とします。
組入制限	新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジなし・年2回決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ハイクムBDCマザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<643386>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
	円	円	円	%	%	百万円
10期(2021年11月22日)	12,362		0	10.5	95.3	1,203
11期(2022年5月20日)	12,962		0	4.9	93.6	1,519
12期(2022年11月21日)	14,415		0	11.2	94.7	1,809
13期(2023年5月22日)	14,189		0	△ 1.6	95.5	1,710
14期(2023年11月20日)	17,250		0	21.6	95.8	1,879

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
	円		%	%
(期 首) 2023年5月22日	14,189		—	95.5
5月末	14,471		2.0	95.7
6月末	15,594		9.9	93.1
7月末	15,973		12.6	95.7
8月末	16,516		16.4	93.4
9月末	17,148		20.9	93.9
10月末	16,350		15.2	92.7
(期 末) 2023年11月20日	17,250		21.6	95.8

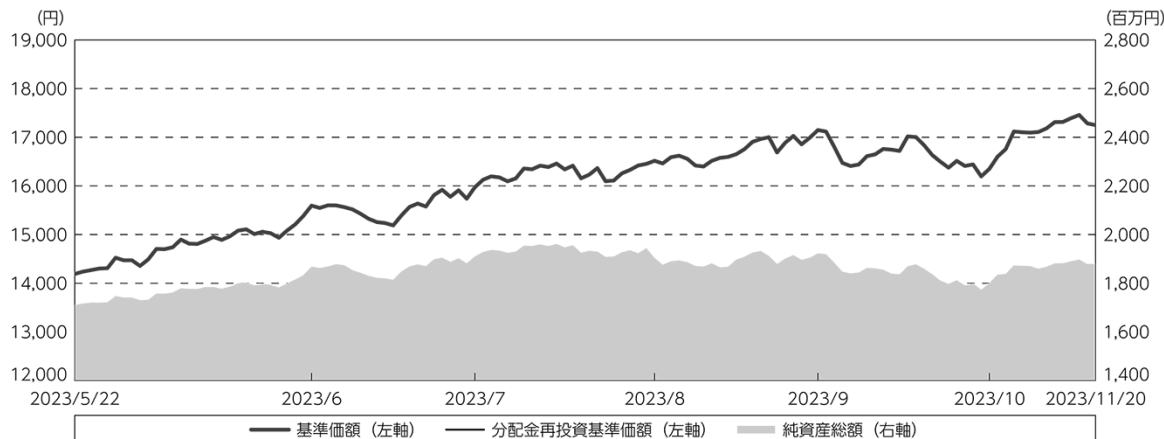
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2023年5月23日～2023年11月20日）

期中の基準価額等の推移



期 首：14,189円

期 末：17,250円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 21.6%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年5月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資先BDCから配当収入を得たこと。
- ・BDC市場が上昇したこと。
- ・円安／アメリカドル高が進行したこと。

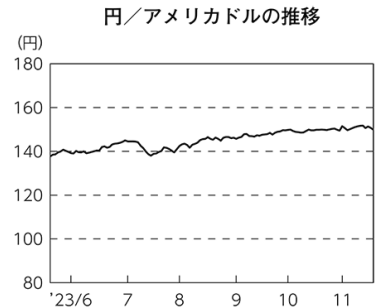
投資環境

（BDC市況）

期間中、BDC市場は、好調な収益、安定したクレジット・パフォーマンス、配当増額により、パフォーマンスは特に好調で、米国株式（S&P500指数）をアウトパフォームしました。このアウトパフォームの主な要因は、1）金利上昇に後押しされたBDCの高収益成長、2）BDCの投資先企業の支払利息が高いにもかかわらず、米国経済が安定し、クレジット・パフォーマンスが予想を上回ったこと、3）投資家が金利上昇の長期化を予想しており、BDCが引き続き恩恵を受けるマクロ環境であること、であると考えています。

（為替市況）

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（ハイインカムBDCマザーファンド）

期間中、2つの不採算BDCをポートフォリオから入れ替え、2つの新規ポジションへの投資を開始しました。

弊社では、クレジット・デフォルトが非常に低い水準から回復すると予想しており、多様なポートフォリオ、強固なバランスシート、慎重なアンダーライティングを有するBDCがアウトパフォームすると引き続き考えています。米国経済が大幅に減速した場合、米国国内の中小企業はより厳しい環境に直面する可能性が高いと思われるため、下位ミドルマーケット向けBDCをアンダーウェイトとしています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第14期
	2023年5月23日～ 2023年11月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,368

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（ハイインカムBDCマザーファンド）

投資家センチメント（心理）は、金融政策と米国経済の健全性に影響を受けると考えられます。米国経済は高金利環境下でも底堅く推移しています。インフレは過去の水準から後退しましたが、米国連邦準備制度理事会（FRB）は金利上昇を長期化させる可能性が高いと考えられます。米国経済は、個人消費の継続的な好調と雇用市場の逼迫に牽引され、短期的には安定を維持すると思料します。中期的には、高金利が経済成長を抑制する可能性が高いため、景気は減速するか、2024年後半には穏やかな景気後退に陥ると考えられます。強固なバランスシート、多様なポートフォリオ、固定金利による資金調達比率の高さ、堅実な信用実績を持つ、質の高いBDCに引き続き注目しています。現在の環境は、BDCエクイティ投資家にとって非常に魅力的であり、収益の上昇、持続可能な配当、管理可能な信用問題を備えていると考えます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年5月23日～2023年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	162	1.012	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(92)	(0.574)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(66)	(0.410)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.005)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.058	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(8)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	172	1.075	
期中の平均基準価額は、16,008円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

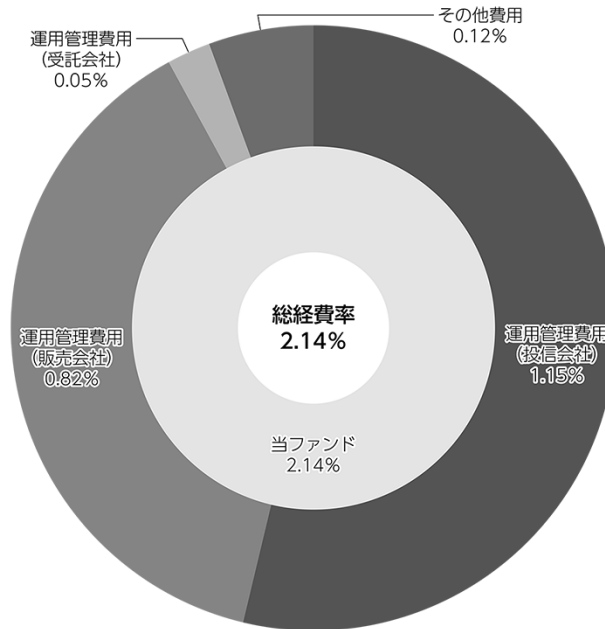
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年5月23日～2023年11月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
ハイインカムBDCマザーファンド		60,603	113,556	175,899	329,973

○利害関係人との取引状況等

（2023年5月23日～2023年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年5月23日～2023年11月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年5月23日～2023年11月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2023年11月20日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ハイインカムBDCマザーファンド		1,038,300	923,004	1,848,871

(注) 親投資信託の2023年11月20日現在の受益権総口数は、4,221,637千口です。

○投資信託財産の構成

（2023年11月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ハイインカムBDCマザーファンド	1,848,871	97.3
コール・ローン等、その他	50,673	2.7
投資信託財産総額	1,899,544	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

（注）ハイインカムBDCマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（8,427,496千円）の投資信託財産総額（8,528,885千円）に対する比率は98.8%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年11月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,899,544,043
コール・ローン等	50,672,868
ハイカムBDCマザーファンド(評価額)	1,848,871,175
(B) 負債	19,765,086
未払解約金	12,188
未払信託報酬	18,827,811
未払利息	10
その他未払費用	925,077
(C) 純資産総額(A-B)	1,879,778,957
元本	1,089,737,589
次期繰越損益金	790,041,368
(D) 受益権総口数	1,089,737,589口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,250円

- (注) 当ファンドの期首元本額は1,205,464,296円、期中追加設定元本額は120,103,890円、期中一部解約元本額は235,830,597円です。
 (注) 1口当たり純資産額は1,7250円です。

○損益の状況（2023年5月23日～2023年11月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 6,400
受取利息	41
支払利息	△ 6,441
(B) 有価証券売買損益	331,687,734
売買益	377,318,984
売買損	△ 45,631,250
(C) 信託報酬等	△ 19,752,888
(D) 当期損益金(A+B+C)	311,928,446
(E) 前期繰越損益金	256,993,655
(F) 追加信託差損益金	221,119,267
(配当等相当額)	(233,392,547)
(売買損益相当額)	(△ 12,273,280)
(G) 計(D+E+F)	790,041,368
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	790,041,368
追加信託差損益金	221,119,267
(配当等相当額)	(234,087,859)
(売買損益相当額)	(△ 12,968,592)
分配準備積立金	568,922,101

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年5月23日～2023年11月20日の期間に当ファンドが負担した費用は6,809,367円です。

(注) 分配金の計算過程（2023年5月23日～2023年11月20日）は以下の通りです。

項 目	2023年5月23日～ 2023年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	80,747,126円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	159,462,608円
c. 信託約款に定める収益調整金	234,087,859円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	328,712,367円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	803,009,960円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,368円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2023年5月23日から2023年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

ハイインカムBDCマザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2023年5月22日）
（2022年5月21日～2023年5月22日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年2月3日から原則無期限です。
運用方針	主として、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	BDCを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCに投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

BDCの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。

BDCの組入比率は、高位を維持することを基本とします。なお、一部、BDCと類似する性質を有する株式および上場投資信託証券などに投資することがあります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	
		騰 落 率	組 入 比 率		
3期(2019年5月20日)	円		%	%	百万円
	10,119		5.5	97.4	15,834
4期(2020年5月20日)		7,593	△25.0	96.0	7,649
5期(2021年5月20日)		12,224	61.0	97.3	8,717
6期(2022年5月20日)		14,505	18.7	95.8	7,767
7期(2023年5月22日)		16,241	12.0	96.8	7,917

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額
		騰 落 率	組 入 比 率	
(期 首) 2022年5月20日	円		%	%
	14,505		—	95.8
5月末		15,080	4.0	96.0
6月末		14,894	2.7	94.9
7月末		15,898	9.6	96.8
8月末		16,277	12.2	96.9
9月末		14,619	0.8	95.1
10月末		16,637	14.7	96.5
11月末		16,201	11.7	96.0
12月末		14,979	3.3	94.4
2023年1月末		15,586	7.5	97.2
2月末		16,776	15.7	97.3
3月末		15,419	6.3	95.2
4月末		15,606	7.6	96.9
(期 末) 2023年5月22日		16,241	12.0	96.8

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年5月21日～2023年5月22日)

基準価額の推移

期間の初め14,505円の基準価額は、期間末に16,241円となり、騰落率は+12.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資先BDCから配当収入を得たこと。
- ・BDC市場が上昇したこと。
- ・円安/アメリカドル高が進行したこと。

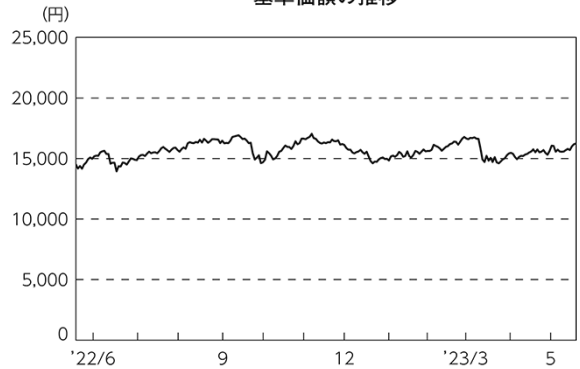
(BDC市況)

期間中、BDC市場は上下動を続けながら上昇しました。当期間中、BDC市場は米国株式(S&P500指数)をアンダーパフォームしました。BDCが米国株式市場をアンダーパフォームした背景については、BDCは、最近の米国地方銀行の混乱後、金融面での警戒感が高まったため、過小評価されていると考えられます。

(為替市況)

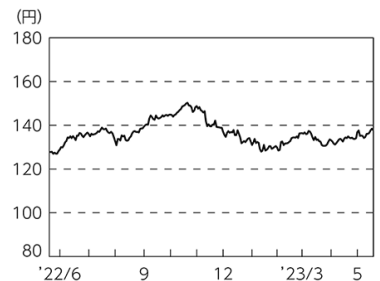
期間中における円/アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/05/20	2022/11/08	2022/06/17	2023/05/22
14,505円	17,040円	13,938円	16,241円

円/アメリカドルの推移



ポートフォリオ

BDCの経営の質、収益性、バランスシートの健全性に重点を置いて銘柄を選択しました。当期間中、高インフレの持続、急速な金利上昇、米国経済の減速など、マクロ経済の状況はますます厳しさを増してきたと考えたため、ポートフォリオの構成比を、多様なポートフォリオ、慎重なアンダーライティング基準、高い評価を持つBDCにシフトしました。

○今後の運用方針

中期的には、市場全体のセンチメントは引き続き米国連邦準備制度理事会（FRB）とその金利政策に左右されると考えています。米国経済は減速し、2023年後半から2024年にかけては穏やかな景気後退の可能性があります、その後は速やかに回復すると予想しています。米国政府は2023年6月に債務上限に達する可能性があります。デフォルト（債務不履行）は想定していないものの、政府の議論にまつわるヘッドライン・シナリオにより、市場のボラティリティ（変動性）が高まる可能性がありますと考えています。コロナ禍後の中堅企業の収益は、金利上昇の環境下でも、引き続き回復力があるとみています。強固なバランスシート、多様なポートフォリオ、投資適格の格付け、シニアセキュアードを重視する質の高いBDCに引き続き注目しています。規模や評判の高いBDCは、最近の地方銀行の商業融資の縮小から恩恵を受け、魅力的なリスクリワードで新規融資を実行する可能性が高いと考えます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年5月21日～2023年5月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 1 (1)	% 0.008 (0.008)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.017 (0.017) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	4	0.025	
期中の平均基準価額は、15,664円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月21日～2023年5月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年5月21日～2023年5月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年5月22日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千アメリカドル	千円	%
BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC	121,189	142,354	1,785	245,846	3.1
BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC	—	181,518	4,661	641,965	8.1
FS KKR CAPITAL CORP-BDC	245,973	247,477	4,758	655,407	8.3
GOLDMAN SACHS BDC INC-BDC	198,412	185,305	2,436	335,590	4.2
HERCULES CAPITAL INC-BDC	204,316	183,315	2,553	351,678	4.4
MAIN STREET CAPITAL CORP-BDC	97,614	93,563	3,678	506,657	6.4
OWL ROCK CAPITAL CORP-BDC	443,373	426,653	5,648	777,964	9.8
STELLUS CAPITAL INVESTMENT C-BDC	56,195	40,380	605	83,417	1.1
SIXTH STREET SPECIALTY LENDI-BDC	144,280	149,768	2,703	372,300	4.7
BARINGS BDC INC-BDC	94,045	125,131	982	135,279	1.7
MIDCAP FINANCIAL INVESTMENT-BDC	141,912	94,533	1,098	151,281	1.9
ARES CAPITAL CORP-BDC	451,259	419,282	7,848	1,080,958	13.7
BLACKROCK CAPITAL INVESTMENT-BDC	45,648	45,648	148	20,463	0.3
FIDUS INVESTMENT CORP-BDC	40,568	31,131	587	80,881	1.0
OAKTREE SPECIALTY LENDING CO-BDC	411,127	114,211	2,141	294,921	3.7
GOLUB CAPITAL BDC INC-BDC	315,213	290,362	3,832	527,850	6.7
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP-BDC	220,845	191,887	2,346	323,198	4.1
PENNANTPARK FLOATING RATE CA-BDC	50,160	45,560	496	68,392	0.9
PENNANTPARK INVESTMENT CORP-BDC	150,113	83,861	478	65,831	0.8
PROSPECT CAPITAL CORP-BDC	389,183	274,774	1,742	239,917	3.0
SLR INVESTMENT CORP-BDC	99,171	89,982	1,266	174,359	2.2
CARLYLE SECURED LENDING INC-BDC	154,794	170,976	2,308	317,881	4.0
BLACKROCK TCP CAPITAL CORP-BDC	119,695	145,102	1,558	214,622	2.7
合 計	口 数	金 額	55,668	7,666,667	
銘 柄 数 < 比 率 >	22	23	—	< 96.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年5月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	7,666,667	96.2
コール・ローン等、その他	303,023	3.8
投資信託財産総額	7,969,690	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(7,904,941千円)の投資信託財産総額(7,969,690千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=137.72円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,015,422,475
コール・ローン等	289,977,847
投資証券(評価額)	7,666,667,091
未収入金	46,000,000
未収配当金	12,777,537
(B) 負債	97,739,303
未払金	45,731,652
未払解約金	52,007,597
未払利息	54
(C) 純資産総額(A-B)	7,917,683,172
元本	4,874,974,404
次期繰越損益金	3,042,708,768
(D) 受益権総口数	4,874,974,404口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,241円

(注) 当ファンドの期首元本額は5,354,861,781円、期中追加設定元本額は500,746,302円、期中一部解約元本額は980,633,679円です。

(注) 2023年5月22日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジなし・毎月分配型)	3,001,684,010円
・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジなし・年2回決算型)	1,038,300,844円
・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)	531,638,733円
・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)	303,350,817円

(注) 1口当たり純資産額は1.6241円です。

○損益の状況 (2022年5月21日~2023年5月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	770,632,939
受取配当金	770,645,592
受取利息	58
支払利息	△ 12,711
(B) 有価証券売買損益	159,683,900
売買益	741,307,655
売買損	△ 581,623,755
(C) 保管費用等	△ 1,395,218
(D) 当期損益金(A+B+C)	928,921,621
(E) 前期繰越損益金	2,412,329,656
(F) 追加信託差損益金	268,997,587
(G) 解約差損益金	△ 567,540,096
(H) 計(D+E+F+G)	3,042,708,768
次期繰越損益金(H)	3,042,708,768

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年5月21日から2023年5月22日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。